

第 116 回 全国健康保険協会千葉支部評議会概要報告

開 催 日	令和 3 年 1 月 15 日 金曜日 14:30 ~ 15:30
開 催 場 所	日本生命千葉ビル 4 階会議室 (オンライン開催)
出席者	小賀野評議員 (議長)、椎名評議員、鈴木評議員、中野評議員 萩原評議員、宮本評議員、米山評議員 (五十音順) 欠席: 飯田評議員
議 題	1. 令和 3 年度千葉支部事業計画について<審議事項> 2. 令和 3 年度支部保険者機能強化予算について<審議事項> 3. 令和 3 年度保険料率について<審議事項>
議 事 概 要 (主な意見等)	<p>1. 令和 3 年度千葉支部事業計画について<審議事項></p> <p>■資料 1: 令和 3 年度千葉支部事業計画 (案)</p> <p><u>主な意見・質問等</u></p> <p>【学識経験者】</p> <p>特定保健指導において、ウィズコロナを前提とした実施を検討されていると思うが、糖尿病から人工透析が必要なほど重症化した場合、経済的負担が大きくなることから、加入者に対して人工透析にならないよう意識付けをお願いしたい。</p> <p>また、組織運営体制について、新型コロナウイルス感染症のような想定外の事態に備えるためにも、人的な余裕は残しておくべき。</p> <p>⇒今般の新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受けて、特定健診や特定保健指導について、感染状況や受け入れ状況を考慮しながら、3 つの密を回避し感染防止策を徹底することで、継続して実施していくことを協会本部が厚労省へ確認している。</p> <p>今後は、リモートによる特定保健指導も実施予定である。</p> <p>【被保険者代表】</p> <p>コロナ禍における事業の在り方として、「平時」の場合と「コロナ禍」の場合の 2 本立てで事業計画・行動計画を勘案するべき。コロナ禍で事業が実施できなかったという前回の反省を踏まえ、工夫した事業計画を次回までに検討していただきたい。</p> <p>* 「令和 3 年度千葉支部事業計画」について、評議会から了承をいただいた。</p>

2. 令和3年度支部保険者機能強化予算について<審議事項>

■資料2： 令和3年度支部保険者機能強化予算について

主な意見・質問等

【学識経験者】

見える化 BOOK の作成費が予算から削られているのは、デザイン等をリニューアルするのではなく、既存のものを活用するということか。

⇒現在使用している既存の見える化 BOOK を新年度も利用していく。

【学識経験者】

ジェネリック医薬品の使用割合をさらに増やす目標となっているが、薬局・薬剤師等からジェネリック医薬品へ切り替えるよう働きかけをすることが一番効果的だと思われる。

⇒令和2年度は、8月に医療機関や調剤薬局に対して、機関ごとのジェネリック医薬品の使用状況等について情報提供をした。また、併せて一部の医療機関や調剤薬局へ直接訪問し周知を図った。令和3年度についても、引き続き実施予定である。

* 「令和3年度支部保険者機能強化予算」について、評議会から了承をいただいた。

3. 令和3年度保険料率について<審議事項>

■資料3-1： 令和3年度保険料率について

■資料3-2： 協会けんぽ（医療分）の令和元年度決算を足元とした収支見通し（令和2年12月試算）について

■参考資料： 令和3年度保険料率に関する評議会での意見

主な意見・質問等

【学識経験者】

中長期に安定的な保険料率を維持することは、企業経営において様々な予算を策定するうえで助かる。しかし、準備金残高が積み上がっていることを考えると、インセンティブ制度で恩恵を受けられない支部に対しても何らかの形で還元することもぜひ検討していただきたい。

* 「令和3年度保険料率」について、評議会から了承をいただいた。

特記事項

- ・傍聴者1名（千葉日報取材）
- ・次回の開催は、令和3年3月3日（水）の予定。